

スポーツ現場実習Ⅲ

科目ナンバリング SPS-408

選択 1単位

佐野村 学・山本 明秀

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。
特にこの授業では、実習現場で、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切に取れているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているか、ATの役割を理解し、それに準じた知識や技術を身につけているかを中心に評価し、各論では主にスポーツコンディショニング、検査・測定と評価の実習を行う。
※2年次のスポーツ現場実習Ⅰを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・担当教員に対して、報告、連絡、相談が適切にできる(自分の意見も踏まえたうえで)
- ・解剖学の知識を習得し、現場で生かせる
- ・現場において、適切にリーダーシップが発揮できる
- ・トレーナー活動をするにあたり、適切な準備が行えている
- ・適切に検査・測定を行うことができる
- ・適切に評価を行うことができる
- ・アスレティックトレーナーの役割を十分に理解し、それを全うできるよう準備ができる
- ・スポーツ外傷の知識を取得し、予防につなげることができる

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(40%) レポート(40%) 報告会発表(20%)

4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養』 日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 筋力トレーニングについて
- 【第3回】 スタビリティトレーニングについて アジリティトレーニングについて
- 【第4回】 サークットトレーニングについて
- 【第5回】 傷害予防のコンディショニングについて ストレッチング・テーピング
- 【第6回】 疲労回復を目的としたコンディショニングについて
- 【第7回】 ウォーミングアップ・クーリングダウン並びにフィットネスチェックについて
- 【第8回】 現場での検査・測定と評価の実際 姿勢・アライメントの観察、計測
- 【第9回】 関節弛緩性検査 関節可動域検査
- 【第10回】 徒手筋力検査 機器を用いた筋力および筋持久力検査
- 【第11回】 全身持久力の検査 敏捷性および協調性の検査・測定 身体組成計測
- 【第12回】 体力測定
- 【第13回】 歩行動作・走動作、ストップ・方向転換動作
- 【第14回】 跳動作・投動作、あたり動作 競技特性にあった検査・測定と評価
- 【第15回】 発表と総評